武　一　中

令和６年10月28日
武蔵野市立第一中学校
学校だより R6－12号

URL:https://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

個人とチーム

校　長　　中嶋　建一郎

校長会の研修で、YDCという「情報通信システムに関するコンサルティングや設計、開発」などを行っている会社の田中 剛（たかし）社長から話を聞かせてもらいました。田中さんの話の中で、私がとても印象に残った内容を今日は紹介します。

ひとつは、田中さんが今とは違うコンピュータの会社に入社したての２０代の頃の話です。田中さんは営業というコンピュータを売る部署にいました。その部署では４～５人がチームになってコンピュータを売っていて、チームの売り上げが多いとボーナスが支給されることになっていました。田中さんはチームの中では、最年少でした。でも、誰よりも頑張って、チームの中でもトップの売り上げを記録しました。そのおかげで、田中さんのチームは売り上げが社内で１番になり、ボーナスが支給されたのです。

田中さんは、もちろん喜んだのですが、同時にこう思ったそうです。「このボーナスは自分が頑張ったからもらえたものだ。自分にもらう権利がある」と。そして、チームの先輩たちにメールを出しました。「私の頑張りでもらったボーナスですので、その分はこちらの口座に振り込んでください」と口座番号を知らせました。なかなか振り込まれないので、リマインド・メールも出したそうです。でも振り込まれることはありませんでした。その後、このことが会社の上司に知られてしまい、田中さんは呼び出され、きつく叱られたそうです。

こんな今さら話さなくてもいいような失敗談をしてくれるところが、田中さんの魅力です。

続けて話してくれたのは、息子さんの話です。高校生の息子さんは、小さいころから剣道を習っていて、現在剣道部に所属しているそうです。ある日、田中さんが息子さんに次の大会に出場するのか聞いたところ、「団体戦では友達が出る」と言います。田中さんは以前から練習を見にいっていたので、「あの友達より、お前の方が強いだろう？何で出られないんだ」と聞き返します。すると息子さんは、「確かにあいつより自分の方が強いかもしれない。でも、あいつが勝つとチームの盛り上がり方がすごいんだ。皆をやる気にさせる力があるんだ」と言います。息子さんは、自分の満足よりチームが勝つことを優先した考えをもっていたのです。その後、息子さんは腕を上げ、団体戦に出場しているそうです。

この話、自分を主張するのが得意な田中さんは歯がゆさと同時に誇らしさもあったように感じました。

会社の社長という立場で大きな責任を背負っている田中さんの話。個人とチームの関係を考える内容だと受け止めました。皆さんはどう考えますか。

２８日（月）朝礼の話より

第一中学校　大会等の成績

【水　泳】

「第３０回　THE FINAL MATCH　（１０月５日～６日）」

○個人種目

男子５０ｍ自由形	第１位	２７秒４４	（３年　蒲龍ノ介）
男子１００ｍ自由形	第５位	１分０１秒４５	（３年　蒲龍ノ介）
男子５０ｍバタフライ	第５位	３２秒４７	（３年　辻田裕樹）
男子１００ｍバタフライ	第３位	１分１９秒１９	（３年　辻田裕樹）
男子８００ｍ自由形	第５位	１１分３４秒７０	（２年　黒沼希夢）
男子１００ｍ平泳ぎ	第４位	１分２７秒１１	（２年　今井遙琉）
男子２００ｍ平泳ぎ	第６位	３分１０秒９４	（２年　今井遙琉）
女子１００ｍ自由形	第４位	１分１３秒８５	（２年　深堀紗矢）
女子１００ｍ個人メドレー	第５位	１分２８秒７３	（２年　深堀紗矢）
女子１００ｍ背泳ぎ	第１位	１分１４秒３８	（２年　森髙ゆずゆ）
女子８００ｍ自由形	第１位	１０分３１秒２３	（２年　森髙ゆずゆ）

○リレー種目

男子４×５０ｍフリーリレー	第３位	１分５３秒５５	（蒲、辻田、黒沼、齋木）
男子４×５０ｍメドレーリレー	第２位	２分１２秒６７	（蒲、今井、辻田、齋木）
混合１６人８００ｍリレー	第３位	８分５８秒７２	

（蒲、齋木、黒沼、森髙、辻田(裕)、北田、辻田(瑞)、石川、今井、大神、深堀）

【バドミントン部】

「市内中学校バドミントン大会」

○２年男子団体　優勝

佐川　辺、井口　雄太、石田　健太郎、田辺　千隼

片山　健琉、杉本　大悟、畠山　晟怜

○２年女子団体　第３位

日野　透子、奥野　在、矢野　麗奈、野上　莉沙

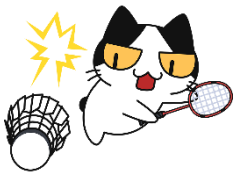
○２年男子シングルス

優勝　　佐川　辺

○２年男子ダブルス

優勝　　佐川　辺　・　井口　雄太ペア

準優勝　石田　健太郎　・　田辺　千隼ペア



「2024 年度 武蔵野・三鷹地区バドミントン新人大会」

○女子団体　第３位

日野　透子、奥野　在、野上　莉沙、矢野　麗奈

折笠　未侑、古根　未菜、猪股　奈央、間明　玲香

○男子シングルス　第２位

佐川　辺（ブロック大会進出）

○男子ダブルス　第５位

石田　健太郎、井口　雄太ペア（ブロック大会進出）